



佐

野吹奏楽団は旧佐野高等学校の吹奏楽部OB有志が昭和49年に立ち上げた楽団です。発足数年後に、最年長ということでも広瀬さんが団長を務めることになったそうです。現在は多方面から吹奏楽好きが集まった楽団となっています。今年、長年務めた団長を交代した後も、団員の確保と拡大に向けて団員一同で頑張っているとのこと。中学時代に出会ったクラリネットですが、趣味として続けており、地域のイベントなどでも披露することがあるそうです。

また、地元の出流原小学校での読み聞かせボランティアでは、『ネコとクラリネットとふき』という絵本を見つけ、読み聞かせをクラリネットの演奏を交えながら行っていたそうです。猫がクラリネットの音楽を聴くとどんな体が大きくなっていくという物語で、猫にとって安らぐ音色だったのだでしょう。出流原小学校の子どもたちにとってもその音色で心が穏やかになったことでしょう。

音楽の楽しさを伝えて

キラリ話題の人

広瀬 裕さん

- ・元佐野吹奏楽団団長
- ・佐野市文化協会相談役顧問
(令和3年度から令和6年度まで会長)



▲出流原小学校での読み聞かせボランティアの様子

部活動の地域展開が進む中、広瀬さんは吹奏楽活動を地域全体で支える仕組みづくりに期待を寄せています。また、子どもたちが音楽に関わる環境をより充実させることの大切さを感じています。

そんな中、今年の6月から週2回、葛生義務教育学校で吹奏楽を指導する機会が訪れたとうれしそうに語っていました。市民の文化活動の拠点といえる佐野市文化会館が大規模改修工事で長く休館中であり、新たな活動や発表の場所づくりが必要だと感じています。市などの理解や協力も得ながら音楽の魅力を広く発信できる機会を創出していききたいとのこと。今年喜寿を迎えた広瀬さん。「これからも健康でクラリネットを楽しんでいきたい。そして何より佐野市が誰でも文化活動をますます楽しめる街になってほしい」と思いを巡らせていました。

(市民記者 中里聖子)

ようこそ 市長室からこんにちは!

早いもので今年も半年が過ぎました。梅雨が明けると、いよいよ本格的な暑い夏がやってきます。日頃からこまめな水分・塩分補給を心がけるとともに、外出時に危険な暑さを感じた際は、市役所や公民館、協力店舗などに設置している「クーリングシェルター(指定暑熱避難施設)」を活用し、上手に涼をとっていただければと思います。

また、本市では、市民の皆さまが普段から実践されている「熱中症対策」のアイデアや工夫を広く募集しております。皆さまから寄せられた知恵を共有することで、この厳しい暑さを乗り切りたいと考えていますので、たくさんのご応募をお待ちしています。さて今月は、近年全国的な脅威となっている「トクリユウ(匿名・流動型犯罪グループ)」の対策についてお話しします。市では、これを防犯上の重要課題として捉え、全庁横断的に取り組むとともに、警察や地域(町会)と連携した総合的な対策を始めま



佐野市長 金子 裕

した。若年層が闇バイトなどの実行役として取り込まれるのを防ぐための啓発活動をはじめ、市内における犯罪の「下見」活動の早期探知に努めてまいります。また、高齢者を対象とした特殊詐欺撃退器の貸し出しや、センサーアラーム、防犯砂利といった防犯グッズの購入補助など、各種防犯対策を強力に推進してまいります。市民の皆さまも、不審な人や車両を見かけた際は、速やかな警察への通報をお願いいたします。犯罪を寄せ付けない環境を、地域一体となって作っていきましょう。

最後に、物価高騰対策として市民の皆さまにお配りした「さのまるペイ」の使い切りカードについて大切なお知らせです。ポイントの有効期限は、今月末の7月31日までとなっております。期限を過ぎますとご利用いただけなくなりますので、まだ残高がある方はどうぞお早めにお使いください。

sanoteens も参加♪
閑援隊主催「キウイ棚整備&さつまいも苗植え」

6月7日(日)、「はねやすめ」(佐野市閑馬町867)にて閑援隊主催のイベント「キウイ棚整備&さつまいも苗植え」が行われました。

閑援隊は「より暮らしやすい地域を目指した活動」をモットーに立ち上げられ、体験などを通して地域の活力向上や耕作放棄地の活用などに繋げています。

当日は、佐野市高校生プロジェクト「sanoteens」のメンバーも参加し、地域の方々の丁寧な説明に真剣に耳を傾けていました。また、慣れない作業の中、楽しみながら活動していました。

今回の体験を通して、作物を育てることの楽しさや作物に関する知識を得るだけでなく、地域の方々との温かい触れ合いを感じられる機会となったようです。



両毛エリアの魅力が大集合!
ソース×リョーモーフェス in 佐野

5月30日(土)、佐野駅周辺で「ソース×リョーモーフェス in 佐野」が開催されました。

佐野駅前交流広場には、「佐野黒から揚げ」や「いもフライ」をはじめ、両毛エリアで親しまれている焼きそばや足利シュウマイなど、多彩なソースグルメが集結しました。

また、城山公園芝生広場には、両毛線沿線の各自治体のPRブースをはじめ、ワークショップや鉄道会社、着物・織物店舗のブースも出展。両会場は多くの来場者でにぎわい、グルメや文化、観光など両毛エリアの魅力を楽しむ姿が見られました。



国内外のチームが集結!
佐野市女子日本プレミアリーグ

5月25日(月)から31日(日)にかけて、市国際クリケット場で佐野市女子日本プレミアリーグが開催されました。

本大会は市主催で行われ、国内チームからだけでなく、南アフリカやスリランカ、オーストラリアの海外チームからも選手が参加し、熱戦を繰り広げました。

31日(日)には、クリケット版ホームラン競争やどなたでも試合を楽しめる試合解説が行われました。また、食文化体験として海外の料理が楽しめるキッチンカーも出店しました。訪れた方は、クリケットの試合や体験を通して、クリケットの魅力や楽しさを体感していました。